

(1) 自己評価結果の内容の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<ご意見・ご指摘・ご提案> ・「教育課程評価ガイドラインに沿った評価」及び「新カリキュラムにおける実習指導案の作成及び評価」において、具体的な計画を策定し各課題に取り組み、評価も適切に行われていると思われる。 ・学生に身につけて欲しい資料・能力が明確に示されている。5つのディプロマポリシーについて高い自己評価結果となっており、学生の満足度がうかがえる。 ・教育課程評価で、新カリキュラムでの到達状況についてのアンケート結果において、自己評価の割合が高く評価されていたことから、取り組みが適切であったと評価する。 実習指導案の作成において、見直しや検討が行えているため、適切と評価する。 ・目的にそった到達度・達成度が適切に評価されている。 修正すべき課題も明確になっている。 ・自己評価で課題を明確化し、次年度の重点目標を設定し、その実現に向けて具体的に取り組んでいる姿勢は適切である。 また、全ての実習をルーブリック評価に統一したことは評価できる。			

(2) 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<ご意見・ご指摘・ご提案> ・ 自己評価に基づき、各重点課題における問題点が抽出され、今後の改善策や方向性について計画されており適切であると思われる。 ・ カリキュラム・ポリシーが具体的であり、教育内容や評価方法が分かりやすい。 評価方法については改善に向けた修正も検討されている。 ・ 教育課程の評価において、次年度就職先の指導者評価・実習病院の管理者への聞き取り調査を実施とある。実習時間は限られていることから、充実した実習となるよう、また就職後の卒業生の現状など、意見交換を行うことで課題も明らかになると考え、適切であると評価する。 ・ 評価結果をふまえて今後の改善などが具体的に考えられている。 ・ 学生の実習指導に対して、実務に即した実習を行うための工夫がなされ常に内容が適切か、学生が主体的に学べるかどうかの検証を行い、理解が深まるための見直し、修正、改善を行っている。			

(3) 学校の重点課題や評価項目等の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<ご意見・ご指摘・ご提案> ・ 収集した資料・データを基にした継続的な教育は重要であり、また卒業後調査で得られる学生と社会人の考え方の違いや必要な知識等を教育現場で生かせる点から重点課題として設定されており、適切な計画がなされていると思われる。 ・ 客観的な分析に基づいて重点課題が設定されている。 卒業後調査が加わっているのは大変良いと思う。 ・ 課題について明確に示されている事から、適切であると評価する。 ・ 新カリキュラムの編成、教育の充実を図っていく為の課題をあげ、適切に評価されている。 ・ 収集した資料・データを基にした教育目的、教育目標の致達度・達成度の評価分析をフィードバックしていくことも重要である。またSNSの進化は速く、個人情報の観点からも情報リテラシーの指導は重要課題である。			

(4) 学校運営の改善に向けて実際の取組みの適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	4	1	
<ご意見・ご指摘・ご提案> ・ 新カリキュラムによる教育が行われ、必要な資料・データを収集しそれに基づき、翌年度の重点課題が決定され、改善に向けた取組みが示されており適切と思われる。 ・ 南予地域は少子高齢化が特に進行しており、医療分野だけでなく産業や経済活動の面でも大きな課題となっている。地域活性化のためにも学生確保に努めて頂きたい。評価資料には無かったがSNS等での情報発信にも取組まれていると聞いている。そのような取組を推進して欲しいと思う。 ・ いつの年も看護師は不足している。高齢化率が高いこの南予地区で地元の方々に支えていけるよう、看護師になる方をぜひ増やして頂きたい。 ・ 入学する学生数が減少している事に関し、分析と対応策が考えられている。 ・ 全教員が共通理解を持ち、評価課題解決に同じ方向を向いて取り組んでいる。そして改善点が見つかると迅速に対応している点も評価できる。			

(5) その他

学校関係者評価

＜ご意見・ご指摘・ご提案＞

- ・ 少子化の問題や若者の地域離れにより学生確保が年々難しくなっている状況だが、地域医療を支える上からも学生の確保が緊急の課題と思われる。
- ・ 本地域になくてはならない学校だと思っている。国家試験の合格率も素晴らしく教育内容の質の高さがうかがえる。高校で進路指導をしていると看護については、志を立てる時期が早い生徒が多いと思うので（資料にあるが）小中学生に向けた情報発信も有効であると考えます。
- ・ 地元で看護師を継続していくには、就職先の職場環境が大きいと思う。その為、今回の取り組みでホームカミングデイなどを通して、卒業生と在校生での交流会など、実際の声を聞くことで、就職先の選定や就職後の今後のキャリアラダーなども見えてくるいい取り組みと期待している。
- ・ 南予地方の看護師不足は深刻だが、今後も将来の医療を担う看護師が育成され、活躍されることを期待している。
- ・ 少子化の影響もあり入学者が大幅に減少しているようだが、南予地域で唯一の看護学校であり、これからの時代に必要な人材育成機関であることを小中学生のうちから伝えていくことも、長い目で見ると学生確保につながってくると考える。